

東日本大震災から10年を迎えようとする

今こそ向き合わなければならない課題



2020 (令和2) 年

3/4 [水]

11時から13時頃

衆議院第一議員会館  
地下1階第3会議室

まもなく東日本大震災から丸9年を迎えます。

あとき小学校高学年や中学生だった子どもたちは若者となり、被災した地域の復興のために何ができるか、模索しながら活躍し始めています。しかし、彼らの意欲を横目に、私たちは震災から10年を迎えようとする中で、復興は終わったかのように錯覚してしまっているように思えます。

現在被災地の中では、不登校の子どもが増加したり、育児不安を抱える親たちが増えてきていると言われています。被災時就学前だった子どもたちや、高校生世代だった子どもたちが親になり、新たな課題が表出しているのです。

10年という時間で区切ることなく、継続的な支援がどのように展開されるべきか、東北で暮らす若者たちの声に耳を傾けながら一緒に考えてみませんか。ご参加をお待ちしております。

報告者

南三陸町 projectM

山田町 ゾンタハウス

郡山市 特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふおーらむ・福島

宮城学院女子大学

コーディネーター

東洋大学

森田明美

山梨学院大学

荒牧重人

阿部成子  
上沢りえ  
佐々木麗緒  
高村侑奈  
遠野瑞穂  
足立智昭